

## 渓谷とそうめん流しに涼を求めて 山乗渓谷「涼水亭」オープン



暑い夏には天然のクーラーで涼を

今年も7月12日から蒜山下和の山乗渓谷にある「涼水亭」が夏限定でオープンしました。名物は地下120メートルから汲み上げた13度から14度の冷たい水でしめるそうめん。また市内でとれたヤマメの塩焼きも提供しています。この場所は店の側を流れる川とあたりを覆いつくす木々によって、真夏でも25度を超すことはほとんどありません。苔むした遊歩道を奥に進めば落差20メートルの不動滝があり、豊かな自然を楽しむ人で賑わいます。涼水亭は8月25日(日)までオープンしています。

## ぐるり まにわ 眞庭 まちの話題

まちの話題

7月6日、久世地域の上町・中町・下町商店街で七夕まつりが開かれました。かつてこの商店街では、夏になると土曜日の夜に毎週「土曜夜市」が開かれ多くの客で賑わっていました。その活気を今の子どもに伝えたいと眞庭商工会女性部久世エリアが19年前から開いています。去年は豪雨で中止となりましたが、この日は4年ぶりに天候にも恵まれ、多くの家族連れが七夕飾りが揺れる中、夏の夜市を楽しんでいました。

### 願い事叶いますように★ 土曜夜市「七夕まつり」



商店街には七夕飾りが。願い事が叶いますように



直径122センチのボールをチームでキャッチ

6月30日、北房B&G海洋センターで第16回岡山県キンボールスポーツ普及発祥の地北房大会が開催されました。競技は中学生以上の一般の部、小学校4~6年生のジュニアAの部、小学校1~3年生のジュニアBの部の3部門で行われ、市内外から10チームが参加。「オムニキン」というかけ声とともに色がコールされ、ボールが宙を舞うと、コールされた色のチームは力を合わせ、ボールをキャッチしていました。

### みんなで楽しくオムニキン 岡山県キンボールスポーツ普及発祥の地北房大会

## 7/1 毎日完食が元気の源

山本ともよさん（中島）が7月1日に百歳を迎えるされました。手作業が得意で、塗り絵や貼り絵を楽しみながら過ごされています。長寿の秘訣は、毎日3食の食事をしっかり食べることと教えてくれました。



## 7/2 思い出は宝物

福島武さん（岩井谷）が7月1日に百歳を迎えるされました。長寿の秘訣は、腹を立てず穏やかに過ごすこと。趣味は書き物で、若い頃から書き留めた思い出ノートが今では宝物になっているとのことです。



## 7/8 土用稽古で鍛錬の積重ね

久世空手道クラブが典武館で7月8日から1週間の土用稽古を行いました。夏の暑さに負けない身体と精神力をつける事を目的としていて、子ども達は大きな返事と大きな気合を念頭に置き稽古に臨みました。



## 7/14 ヤマブドウにかける思い

蒜山郷土博物館でヤマブドウ講座が開かれました。ひるぜんワイン有限会社の植木啓司さんが、1980年代に当時の川上村でヤマブドウ栽培が始まった経緯や、ワイン醸造にかける思いを話しました。



## 7/14 どんな生き物がいるかな？

津黒いきものふれあいの里で土の中の生き物を観察するイベントが開かれ、家族連れなどが参加しました。環境が異なる3カ所の土を採取し、土の中にどんな生き物がいるのかを顕微鏡で観察しました。



真剣に、そして楽しく映画づくりを体験

映画監督の山崎樹一郎氏から学び、子どもだけでシナリオ制作、出演、撮影をして1本の映画を作る、映画作り体験イベントは、NPO法人勝山・町並み委員会と真庭市が8月11日から始まる「まにわ映像フェスティバル」のイベントとして開催。参加した小学3年から高校2年までの9人は、7月6日、13日、20日の3日間にさまざまな体験をしました。映画「青いバケモノ」はまにわ映像フェスで上映されます。

**映画を作つてみよう!**  
映画監督・山崎樹一郎さんと映画を作つてみよう!



火点に向かって迅速に、かつ正確に放水!

7月21日、久世の旭川河川敷で真庭市消防団久世方面隊の放水訓練大会が開かれ、団員403人が集合しました。実際にポンプのエンジンを始動し放水することで実力を養い、有事の際にも迅速かつ確実な放水ができるようになることが大会の目的です。大会では、志気や規律、チームワークなどさまざまな項目が審査され、緊張感に包まれる中、地域の安全と安心を守る団員たちが技術に磨きをかけました。

**放水訓練大会で技術磨く**  
真庭市消防団久世方面隊放水訓練大会